

病理検査のご紹介



主な業務は、病理組織検査、細胞診検査、病理解剖です。患者さんから採取した組織、細胞を臨床検査技師が染色標本の作製を行い、病理医が顕微鏡で観察し、悪性腫瘍などがないかどうか最終診断をしています。

病理検査において最も重要な事は検体の取違いをなくす事だと考えています。人間の注意力だけに頼るのは危険なので、なるべく自動化を導入するなど安全な仕組みを構築しています。

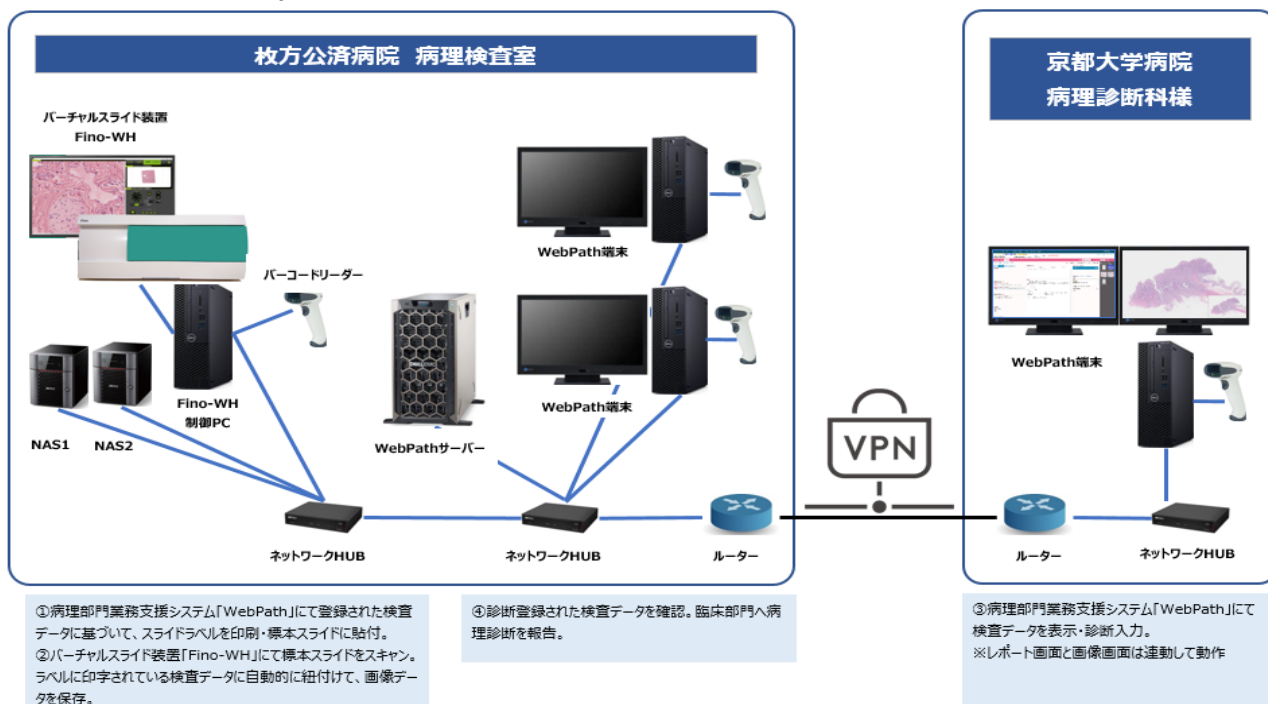
病理組織検査：内視鏡検査、針生検などで採取された組織（生検材料）や手術で摘出された臓器（手術材料）を顕微鏡で観察できるように薄く切ってガラスに張り付け染色します。病理医は顕微鏡で標本をみて悪性組織があるかどうか診断します。



細胞診検査：尿や喀痰など自然に剥離する細胞、分泌液等に浮遊している組織、または人為的に採取した細胞をガラスに塗抹し染色します。この標本を顕微鏡で確認し悪性細胞があるかどうか確認する検査です。



■ 枚方公済病院システム構成図

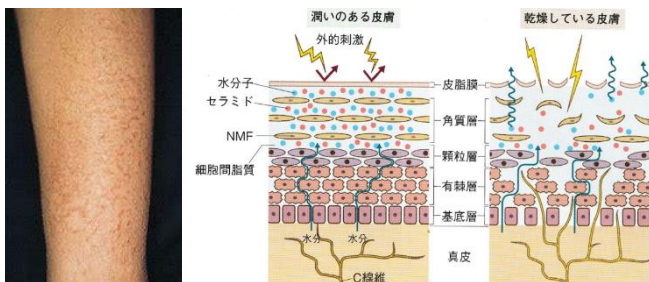


当院では常勤病理医が不在のため、京大病院の先生に遠隔で診断していただいております。そのためこのようなネットワークを構成しています。京大にしながら公済病院の標本を顕微鏡で観察できるようになっています。

皮膚乾皮症とかゆみと保湿について

皮膚乾皮症とは？

皮膚の一番外側にある表皮角層のバリア機能低下に基づくドライスキン(乾燥肌)の状態を言います。潤いのある皮膚では皮脂膜やセラミド・天然保湿因子によって水分が抜けることはありませんが、表面がかさかさの状態では、中にある水分を保持することができません。



なぜ、かゆみが起こるのか？

かゆみの神経であるC繊維は、本来皮膚の表面に出てくることはありません。しかし、乾燥している皮膚では、スカスカになった部分にこのかゆみの繊維が伸びてきます。そのため、掻いたなど少しの刺激が加わっただけでかゆみのスイッチが入ってしまうのです。

予防するには？

保湿です。皮膚のスベスベを取り戻すよう弱酸性ローションタイプの保湿剤をできる限り毎日、こまめに塗りましょう。お風呂上り10分以内・まだ皮膚が湿っている状態で塗るのがポイントです。

皮膚・排泄ケア認定看護師 大西千代

手羽元で簡単☆鶏おでん

材料(4人分)

手羽元 12本
ゆで卵 4個
こんにゃく 1枚
大根 2/3本
ソーセージ 4本
お好みの練り物 適量
里芋・じゃがいもなど 適量

作り方

- ① 大根、こんにゃく、練り物は下茹でし、手羽元もさっと1~2分下茹でする。
- ② 鍋にAを合わせ、具材を入れ、沸騰したら弱火で40~50分煮る。



A だし汁 1500ml
A 醤油・みりん 各大さじ4
A 砂糖 大さじ1
A 塩 小さじ1/3

寒い季節には温かいものが食べたくなりますよね。今回は手羽元を使って、お手軽に食べられる鶏おでんの紹介です。牛すじよりも下処理が簡単で、時短にもなります。煮物は煮汁が冷めるときに具材に味が染み込みやすいので、時間があれば、一度冷めるまで待ち、再加熱してから食べるのがおすすめです。

管理栄養士 友近花菜

枚方公済病院

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。